

《講演会報告2》 2004年11月2日

## フランスにおける図書館の現状と今後の日本学の方向

Antony BOUSSEMARY\*

### フランスにおける日本学

フランスでは、19世紀から日本への関心が高くなり、日本語文化を研究しはじめた。現代、日本語文化を教える大学がいくつかある。パリでは、フランス国立東洋言語文化研究院 (INALCO) とパリ第Ⅶ大学のUFRである。他の地方では、主に、プロヴァンス大学 (エクス・マルセイユ)、ミシェル・ドモンテーニュボルドー第三大学 (ボルドー)、スタンダール大学 (グロノーブル)、シャルル・ド・ゴール大学 (リール)、リュミエール大学とジャン・ムーラン大学 (リヨン)、レンヌ大学 (レンヌ)、マルク・ブロック大学 (ストラズブルグ)、トゥールーズ・ル・ミラーユ大学 (トゥールーズ) などである。

### 日本関係の研究所

大学以外にも、東アジアと日本について研究をしている研究所がたくさんある。大学と同じく、その研究所も全国にあり、大学と研究所とで一つの研究の世界を作り上げている。たとえば、パリには日本研究所 (国立社会科学研究院所属)、東アジア言語研究所 (国立社会科学研究院所属)、パリ・ソルボンヌ東アジア研究所 (CREOPS)、日本研究所 (フランス国立東洋言語文化研究院所属)、フランス国立科学センター・日本文化、フランス国立極東学院が

ある。地方においては、リヨンの東アジア研究所が一番重要な研究所である。

研究所と大学には図書館がある。重要な日本関係の蔵書は次のようである。パリは、フランス国立東洋言語文化研究院、フランス国立図書館 (フランソワ・ミッテラン国立図書館とリシュリユー国立図書館)、日本研究所 (国立社会科学研究院)、日本学高等研究所 (コレージュ・ド・フランス所属)、フランス国立極東学院 ([www.efeo.fr](http://www.efeo.fr) にオンライン蔵書目録データベース設置予定)、パリ日本文化会館 ([www.mcjp.asso.fr/lib/](http://www.mcjp.asso.fr/lib/))、ギメ博物館の蔵書である。そして、リヨンの東アジア研究所 ([www.ish-lyon.cnrs.fr:8088](http://www.ish-lyon.cnrs.fr:8088)) も蔵書の多い図書館である。

### フランス国立極東学院の歴史

ここで、勤めている研究所についてちょっと説明しておきたい。フランス国立極東学院は1898年にインドシナに創立された。そして、ベトナム戦争後の1957年までは、ベトナムにその本部があったが、1968年からパリの16区に移転されて、現在に至っている。そして、パリには図書館と極東学院の管理部が両方ある。

\*フランス国立極東学院図書館副館長

### 極東学院のアジアにおける研究所

国	創立年	専門分野
インド	1955年、ボンデシェリ市 1964年、ブネ市	歴史学・インド学
ミャンマー	2002年、ヤンゴン市	歴史編纂と国際交流
タイランド	1980年、チアン・マイ市 1997年、バンコク市	仏教学
カンボジア	1907年～1975年の間、シエムリープ市にあるアンコル・ヴァト寺院の保存を担当。1992年、再創立。 1990年、プノンペン市	考古学・写本をデジタル化
ラオス	1993年、ヴィエンチャン市	仏教学特に数言語の写本を研究
ベトナム	1993年、ハノイ市で再創立	ベトナム学（考古学・言語学・文献学・歴史学・民俗学など）
マレーシア	1987年、クアラ・ルンブル市	歴史編纂・マレ世界の考古学と古代の歴史
インドネシア	1952年、ジャカルタ市	宗教的な銘文学・考古学
中国	1997年、北京支部 1994年、香港支部	歴史編纂・地域歴史 民俗学・宗教学
韓国	1994年、ソウル市	民俗学特に東アジアにおける葬式
日本	1926年、京都支部 1994年、東京支部（東洋文庫の中に）	東アジアの宗教学 人類学・日本歴史・出版歴史

### パリにおける図書館

1957年、ベトナム戦争後、フランス国立極東学院は西洋の言語で書かれた書籍を持ってパリに戻り、アジアの言語で書かれたものをベトナムに残した。1995年まで、研究者たちが書庫を

担当し、2000年、日本言語文化の専門家が図書館員として加わった。書庫テーマは次のようである。

南アジア	1.5万冊	歴史学・インド学・美術史・文学など	資料の30%は南アジアの言語（サンスクリット語・パリ語）である
東南アジア	2.5万冊位	歴史編纂・考古学・宗教学・文学	資料の85%は東南アジアの言語である
東アジア	1万冊	考古学・宗教学・文学・民俗学など	資料の70%は東アジアの言語である
	雑誌：350タイトル	考古学・宗教学・文学・民俗学など	中国語：185／日本語：171

極東学院図書館は、2008年ごろ、BULAC という新しい図書館と合併する予定である。現在

のBULACは、21の図書館からできている。その21の図書館は、パリとその郊外の12ヶ所にあ

り、書籍はそこに保管されている。2008年の BULAC は、150万冊の蔵書になることが予測されている。全蔵書はオンライン蔵書目録データベース (OPAC) を UNICODE フォントで検索できるということになる。

ホームページ:

EFEO: [www.efeo.fr](http://www.efeo.fr)

オンライン蔵書目録データベース (OPAC):

<http://catalogue.bulac.sorbonne.fr>

BULAC: [www.bulac.sorbonne.fr](http://www.bulac.sorbonne.fr)